

計画を実施する中で取組を広げるもの

分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方
低炭素まちづくり	中心市街地のにぎわい創出	宇部市に観光客を呼ぶ方策を考えます。同窓会の為には帰郷しますが、「まつり」での帰郷は皆無であるのが現状なのです。（「きらら博」は別として） 「ふるさと宇部にいかに観光客を呼び寄せるか」 毎日のように、小さなイベントは現在行われていますが、「ふるさと宇部まつり」として、大々的な「祭り」を創り上げます。5月の新川市まつりや、11月の宇部まつりも再検討します。	宇部観光コンベンション協会や宇部商工会議所をはじめとした、さまざまな団体と連携し、宇部まつり、新川市まつり、花火大会など大規模イベントを継続開催するとともに、内容もさらに工夫を凝らすことで中心市街地のにぎわいづくりに取り組みます。
低炭素まちづくり	家庭における環境活動の促進	環境学習は志立市民大学受講人数を増やす事が必要だと思っています。西岐波地区において、H26年の受講者はH26年1月現在5名が決定しております。（環衛連から推進しております。） 3R推進事業においては、H26年1月現在、塵減量の観点から段ボールコンポスト51台の販売をして、実施してもらっております。私自身は「清掃団体サンフラワー会」をH23. 6から現在にいたり、毎月再生資源回収を実施して、お金を地域の草刈り実施に当てております。	平成26年度の宇部志立市民大学について、カリキュラムの見直し等を実施して受講生の増加に取り組みます。 また、3R推進事業につきましては、引き続きごみの減量化に向けた各種3R施策を市民・事業者の皆様と連携して推進してまいります。
観光・にぎわい	観光資源・観光ビジネスの創出・活用	観光資源の創出・活用として、海から山までの観光資源を利用し、交通手段も道路・鉄道・空港・港湾の各手段を最大限採用した計画を立てる。	「ふるさとツーリズム創出事業」や、「伝統文化交流事業」、「海岸環境整備事業」などにおいて、本市の地域資源を掘り起こし、磨きあげるとともに、公共交通網を有効に活用した旅行商品を開発します。
観光・にぎわい	観光資源・観光ビジネスの創出・活用	「観光タクシー」に新マニュアル作りを。	平成25年度から取り組んでいる「タクシー観光」をさらに拡充します。
観光・にぎわい	観光資源・観光ビジネスの創出・活用	税金とボランティアでの運営は限界があるので、収入増（観光）につながる活動・施策を作ってほしい。	「ふるさとツーリズム創出事業」において、地域資源を掘り起こし、磨きあげることで旅行商品を開発するとともに、6次産業化などを通じたお土産品を開発することで、本市の経済活性化を図ります。
子育て・教育	学校と地域社会の連携	放課後の教育環境の充実を要望します。 まちなか環境学習間の運営実績などから、特に受験生の勉強の場がないように思われる。	青少年会館の一部を学習ができるスペースとして整備していきます。 学校の図書館等を自習スペースとして活用を図ります。 図書館の学習スペースの更なる充実を図ります。
子育て・教育	学校教育の充実	青少年会館の利用者が少ないようなので、利用しやすいように整備してはどうか。	今後子供たちを対象とした講座の充実や学習できるスペースを整備するなど利用が増えるような取組をしていきます。